

## ■知財ワーキンググループ（本部総務委員会 WG）…グループリーダー 菅沼 秀樹

「知的生産者の公共調達の関する法整備連絡協議会」の支援を目的としたワーキンググループ

2024/4/24 Zoom 会議

- ・連絡協議会の活動状況について共有
- ・JIA 内及び他会での同様活動について共有
- ・今後の知財 WG 活動について意見交換

2024/7/3 知的生産者の公共調達の関する法整備連絡協議会 Zoom 参加

- ・海外の事情調査について

2024/8/27 知的生産者の公共調達の関する法整備連絡協議会 Zoom 参加

- ・海外建築設計団体への設計者選定に関するアンケート結果について

2025/1/16 知的生産者の公共調達の法整備シンポジウム Zoom 参加

- ・法整備に向けての状況報告

## ■オンライン / リモート対応や環境整備に特化した特別委員会

JIA MNS（メンバーネットワークサービス）の運用に向けた委員会

2024/5/ MNS 運用テストに参加

2024/8/20 第1回委員会 Zoom 参加

- ・MNS 課題点の整理
- ・MNS 利用マニュアル案について

2024/11/22 第2回委員会 Zoom 参加

- ・MNS 利用規約案について

2025/3/3 第3回委員会 Zoom 参加

- ・個人情報保護規定への対応、利用規約、利用マニュアルについて
- ・MNS に代わる呼称について→JIA net
- ・利用マニュアルの修正、しおりの作成を各委員で手分けして行う
- ・各支部にて、しおりを基に説明を行う

## ■広報グループ …グループリーダー 堀尾 浩

支部広報委員会活動

- ・支部会員の紹介冊子「HOKKAIDO ARCHITECTS の横顔」の紹介人数を増やすための見直し検討を進める。
- ・新構成の冊子制作をデザイン協議会へ委託、デザイン、印刷ほか業務全般を行うことが決定された。
- ・新冊子の内容、構成について、デザイン協議会との打合せを重ね基本の方向性を確認する。
- ・その内容での業務予算について協議し、初期のデザイン料と年間予算額を決定した。
- ・来年度からの計画として、3冊 / 年度の紹介冊子を発行し、内一冊に個人紹介ページを加える予定。

本部広報委員会活動

- ・毎月1回開催される本部広報委員会（Web 会議）に出席。打合せ内容を適宜、支部へ報告。
- ・10月、東京で開催される本部広報委員会の意見交換会に出席。打合せ内容を支部へ報告。

## ■職能業務グループ …グループリーダー 河野 竜夫

### 1) 北海道建築設計会議への参加

建築設計関連 11 団体（10 団体＋新聞社）で構成される会議体で、年間 6 回開催された。建築設計の団体に加え、設備設計、構造設計、積算などの団体で構成され、幅広い情報交換の場となっている。本年度の会議は ZOOM 併用の対面で行われ、議題としては BIM 活用状況、2024 年問題にかかわる工事工期や工事コストへの影響、25 年 4 月法改正の影響、省エネ法改正の影響、各団体の現状と課題（会員数増強など）、各団体による人材育成について議論をおこなった。

## ■まちづくりグループ …メンバー：米花、小倉、石塚、大杉、久保田、櫻井、山本

1：支部活動特に活動なし

2：北海道福祉のまちづくり推進連絡協議会 2025/1/22\_ 令和 6 年度（2024 年度）北海道福祉のまちづくり推進連絡協議会（参加：米花）

## ■全国まちづくり会議 …メンバー：米花

1：定例会議全 8 回開催：主に今年度のイベント準備について協議

2：イベント

2024/10/11\_ マンスリー企画：銭湯で人をつなぐ活動／別府まちづくり／地域を活かす建築家のファシリテーション講 師：栗生はるかさん、籠田課長（別府市役所）

2024/10/18\_ J I A 四会議合同主催

「J I A 四つの心得から考える「いつも」と「もしも」～能登地震から見えてきたこと～

2023/11/28\_ まちづくりワークショップ企画

別府温泉街探索 まちあるき・まちづくりワークショップ

「まち歩き 別府の「たから」と「あら」を考え、提案しよう！」講 師：姫野由香先生（大分大学准教授）

## ■住宅グループ

2025 年度実施予定の「住宅作品意見交換会」発足に向け、企画打ち合わせを名古屋、弘田、五十嵐にて行なっています。

参加建築家全員が住宅建築について自由に発言できる場を提供することを目的とします。

建築家同士、住宅建築をデザインする上での考え方やその背景を見聞きし討論することで、自らの設計にも役立つ重要な要素が見えてくる、その様な気軽な意見交換会を企画いたします。

## ■住宅等連携会議 2024年度 活動報告書 …弘田 亨一

定例会議 月1回（2024.5月～毎月開催）

- ・月に1回のペースで zoom にて各支部から1名ずつ集まり、住宅等小規模向けの建築家の活動について議論をしています。

2024年度の主な活動実績

### ①地域で活躍されている建築家の紹介

建築家インタビューという形で、地域で活躍されている建築家を住宅等連携会議のホームページ上で紹介する活動を行っています。

北海道支部では櫻井百子さんにインタビューを行い、現在 web 上への公開準備中です。

### ③建築家、働き方をデザインする

JIA 建築家大会 2024 別府のオンラインイベントとして行いました。

パネリストに、山中祐一郎さん、寶神尚史さん、佐々木翔さん、江角俊則さんファシリテーターに、井上久美さんをお迎えし、2時間のイベントを zoom にて行いました。

来年度の全国大会でも同様なイベントを行う予定で計画しています。

### ④コンペ・プロポ参加支援企画

小規模事務所が参加できるコンペ・プロポの成功例をピックアップして、行政支援の事例などを共有し、今後の活動の参考にできるような活動をしています。

### ⑤BIMについて

本部からの依頼もあり、小規模事務所への BIM 導入の促進を図るため、BIMに関する座談会や勉強会を企画中です。

## ■HK アワードグループ 2024年度 活動報告書 …弘田 亨一

2024年度はHKアワードの開催年ではありませんでしたが、HKアワードのアーカイブとして第4・5回（審査委員長山田良先生）の記念誌の作成を以下のメンバー・スケジュールにて行いました。

…メンバー：山田先生・北海鋼機佐藤さま・登尾さま /JIA 小倉・弘田

2024年7月 記念誌製作に向けて打合せ

作品紹介以外のコンテンツ決め

※受賞作の中から4作品ピックアップして再訪する企画に決定

8月19日 大通交流拠点地下広場（日建設計・菅原さま）にて対談

10月3日 北光の家（アーカイブ・杉山さま）にて対談

10月4日 マザーズ（竹中工務店・横尾さま）

・厚真の家（照井康穂建築設計事務所・照井さま）にて対談

12月 初校打合せ

2月 再校打合せ

3月 色校打合せ

3月末 納品・支部会員へ発送

すでに皆様のお手元にも届いているかと思いますが、北海鋼機さま、山田先生、登尾さま、現地対談にご協力いただいた受賞者の皆様のご協力もあり、アーカイブとして素晴らしい記念誌を作ることができました。改めて皆様にご高覧賜りますようお願い申し上げます。

## ■建築学術グループ …グループリーダー 米田 浩志

2023 年度 AIJ-JIA 活動報告会開催

日時：2024 年 5 月 27 日（月）17:00～18:00

場所：日本建築学会北海道支部 札幌市中央区北 2 条西 3 丁目 1 太陽生命札幌ビル 6 階

AIJ：小澤丈夫，大田司，照井康穂，森傑

JIA：小西彦仁，菅沼秀樹，鷺見健二，赤坂真一郎，佐藤孝，米田浩志

### 1. AIJ からの報告

- ・2023 年度総会
- ・第 96 回北海道支部研究発表会
- ・2023 年度大会（近畿）
- ・第 48 回北海道建築賞表彰式・記念講演会
- ・第 43 回 北海道建築作品発表会
- ・2023 年度日本建築学会北海道支部技術賞
- ・作品選集支部選考
- ・建築文化週間 2023

### 2. JIA からの報告

### 3. ジョイントセミナー

### 4. AIJ 大会、JIA 大会について

- ・2024 年度日本建築学会大会（関東）2024 年 8 月 27 日（火）～30 日（金）
- ・2024 年度日本建築家協会大会（別府）2024 年 11 月 28 日（木）～30 日（土）

### 5. 今後の合同企画委員会の開催計画

- ・1 回／年の予定、従来の報告会→懇親会の流れを踏襲
- ・開催時期は、AIJ の活動報告がしやすい総会後の 5 月下旬～6 月で調整
- ・毎年 JIA の総会が 6 月中旬にあるのでこの時期は避ける
- ・ジョイントセミナー開催については適宜検討

### 6. その他

## ■教育グループ …グループリーダー 十河 昌司

### 1) 令和6年度(2024年)高校生建築デザインコンクール

道内の建築を志す高校生の勉強の励みとし、将来の建築家・建築技術者となる若年層の育成と技術向上に寄与することを目的として、平成8年度(1996年度)から実施。道内の建築系学科が設置されている高等学校に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するコンクールである。

#### ■設計課題：バス待合機能のある公営住宅の集会所

～設計にあたっては、地域の交流の場としての機能及びバスの待合機能を備えた集会所を提案してください

#### ■敷地面積：1,100.00m<sup>2</sup>

#### ■建築物の構造・規模：木造 延床面積 100m<sup>2</sup>程度(概ね90m<sup>2</sup>～110m<sup>2</sup>) 1棟

#### ■設計条件：風除室・集会室・便所を設けること

#### ■応募資格：道内の高等学校に在籍する生徒で、個人または3名以下のグループ

#### ■提出図面：JIS規格A2版 横置き1枚片面に下記のすべてを表現すること

- ・作品タイトル
- ・設計主旨(300文字以内で簡潔に記入のこと)
- ・配置図(敷地寸法・方位明記)、平面図、立面図、断面図 縮尺1:100～1:150
- ・スケッチまたは模型写真または透視図
- ・面積表

#### ■応募作品：6校参加、全46作品の応募あり

(個人：31組、2名グループ：13組、3名グループ：2組 計63名)

#### ■入選作品：最優秀作品賞～1作品

優秀作品賞～3作品

佳作～4作品

特別賞～2作品

#### ■経過：募集要項配布 令和6年6月7日

作品受付 令和5年11月29日まで

選定委員会 令和5年12月13日

作品展示 令和6年1月12日(札幌駅前地下歩行空間)

#### ■共催：北海道建設部住宅局住宅課

北海道建設部建築局建築整備課

北海道教育庁学校教育局高校教育課

公益社団法人 日本建築家協会北海道支部

一般社団法人 北海道建築士事務所協会

一般社団法人 北海道建築士会

## 2) 北のジュニア・オープンデスク

■今年度も昨年に続き開催することができた。参加者は以下の通り。

- ・旭川工業高等学校より3年生1名、2年生1名
- ・札幌国際情報高等学校より2年生2名
- ・研修期間：7月29日から8月6日

### ■意見交換会・現場見学会

- ・開催場所：北海道教育会館 現場事務所（札幌市中央区南3条西12丁目）
- ・見学会：北海道教育会館
- ・参加者：オープンデスク参加者の4名、現場所長、教育グループ長 の計6名

## 3) 本部教育委員会

■委員会はWEBにて実施（全7回）

- ・第1回目：2024年08月01日 18:00～20:00
- ・第2回目：2024年10月07日 18:00～20:00
- ・第3回目：2024年11月11日 18:00～20:00
- ・第4回目：2024年12月11日 18:00～20:00
- ・第5回目：2025年01月22日 18:00～20:00
- ・第6回目：2025年02月19日 18:00～20:00
- ・第7回目：2025年04月17日 18:00～20:00

### ■主な議題

- ・今年度の本部教育委員会の構成・委員の紹介
- ・委員会のミッションおよび本部実施の教育関連事業について
- ・各支部の活動状況を共有化
- ・各支部の新入会員対応、教育プログラム実施状況の共有化
- ・2024年度オープンデスクの実施について
- ・JIAフィールドトリップ
- ・オープンデスク規則改定（案）について（承認手順等について一部変更改定する案）
- ・JIAスクールの各支部実施プログラムのCPD認定状況の確認
- ・今後においてCPD評議会と協力体制を組みどのように広報するかの方法を模索
- ・次年度の委員会構成・委員について

### ■事業活動報告

- ・第25回リフレッシュセミナー2024（令和7年3月2日～4日 参加12名＋スタッフ3名）
- ・建築フィールドトリップ（令和6年9月28日 山崎健太郎氏の建築大賞受賞作品 参加25名）

### ■次年度の活動予定（2025年度）

- ・社会状況を鑑みながら徐々に活動をスタートし、上記に挙げた議題について具現化しながら、会員

にとって有益な情報源を発信すべく教育委員会を本格始動する予定である。

- ・建築フィールドトリップ（日本建築大賞作品：熊本地震震災ミュージアムK I O K U）を予定
- ・第26回リフレッシュセミナー2025を予定

以上

## ■JIA スクール グループ …森 徳彦、高橋 大輔

2024 年度、JIA スクールは、下記 4 回の開催をした。

### 第 1 回 JIA スクール

日時：2024 年 8 月 1 日

講師：鳥海 良晴「フランス街ぶら、ソロ歩き、2 週間・・・パリ、ストラスブール、ロンシャン、ベルフォール、ディジョン、ヴェスレー」

場所：KB

参加者：14 名

### 第 2 回 JIA スクール

日時：2024 年 11 月 19 日 18 時～（予定）

場所：公社）日本建築家協会 北海道支部 事務局

講師：弁護士 田中 康道（弁護士法人 札幌英和法律事務所）

タイトル：「第一回 建築訴訟のイロハ」

参加者：対面 3 名 +ZOOM 15 名、計 18 名

### 第 3 回 JIA スクール

日時：2024 年 11 月 22 日 17 時～（予定）

場所：途上の家

講師：畠中 秀幸：「音楽のような建築を…建築のような音楽を…脳卒中を乗り越えて…」

参加者：12 名

### 第 4 回 JIA スクール

日時：2024 年 3 月 14 日 17 時～（予定）

場所：ユビキタス協創広場 U-cara

講師：川人 洋志、タイトル：「“自然 / フェシス” 豊穰なる建築を目指して」

参加者：44 名

■卒業設計グループ …リーダー 米花 智紀 全国委員 米花 智紀  
メンバー 伊達 昌広、前田 芳伸

1) JIA 全国学生卒業設計コンクール 2024

2024年6月29日(土) 建築家会館、JIA館(東京) 現地審査 (参加:米花)

全国より51作品(北海道2作品)が出品。オンラインでの審査及びYoutubeでの2次審査ライブ配信を行う。作品集を編纂(協賛者へ配布)

(道内結果) 小濱嘉耶(北海道大学) 最終審査まで進出(12選)

準備会議は通年にて年10回程度開催。審査当日は東京での開催業務にあたる。(参加:米花)

2) JIA 北海道学生卒業設計コンクール 2025

2025年3月11日(火) 北海道芸術デザイン専門学校 ホール (参加:米花・伊達・前田・野村)

昨年に引き続き、対面での公開審査を開催。道内各学校より登録28名あったが、当日までの参加辞退及び病欠もあり最終26名の参加での開催。金・銀賞(2作品)(全国へ推薦)のほか、審査員特別賞3名を選出。各受賞者に賞状、全国推薦者には参加旅費として3万円の副賞を贈呈。

■審査委員 大田司(JIA北海道)、佐藤潤子(キタバ・ランドスケープ)、蟻塚学(JIA東北)

■審査結果

金賞「百貨店再考ー移動時代におけるモノ・ヒト・コトの新しい集まり方ー」

伊藤琢人(北海道大学)→全国推薦

銀賞「雨と雪の日には、」秋元優花(北海道大学)→全国推薦

銀賞「帯と間ー簡平住宅のコンバージョンによる町民の居場所づくりー」

岸本涼花(室蘭工業大学)→全国推薦

審査委員特別賞

大田賞「私のアトリエ」田村さやか(北海道科学大学)

佐藤賞「大空の未来ー農と人の繋がりー」大瀬戸杏(北海道芸術デザイン専門学校)

蟻塚賞「編む、ほどくー生活を織りなす基本/拡張ユニット」渥美諭(室蘭工業大学)



## ■道東地区グループ …グループリーダー 石井 孝行

2024年度 道東地区 活動報告

### ■ 6月6日（木）

法人協力会商品説明会、意見交換会開催。

参加法人協力会は17社、各社ブースを設け来訪者に商品説明を行うスタイルで開催。

意見交換会には、道東地区正会員6名の参加。

### ■10月26日～27日

くしろ木づなフェスティバル出展：釧路国際交流センターにて

道東地区より、眞壁会員・石井会員が出展

非住宅の木造建築作品のパネル・模型の展示

出展費用¥30,000、来場者：3,940人/2日間

### ■11月28日～29日

JIA 建築家大会 2024 別府 に釧路より正会員2名参加。

### ■月曜塾

総会・新年意見交換会 1月29日

例会 3月11日・5月13日・6月12日・7月8日

見学会：6月12日 旧岩保木水門清掃・見学会

研修旅行：9月6日～7日 PS マダガスカル見学・Kハウス宿泊

懇親会（花見） 5月25日・忘年会 12月14日

## ■本部CPD評議会 …グループリーダー 中藪 則喜

毎月1回開催されるCPD評議会（Web会議・プログラムの審査ほか）に出席のほか、毎月半ばのメール審査を委員交代で担当。

建築CPD情報提供制度プログラム認定基準の改定により、専門家派遣としての災害対策支援活動に「罹災証明書発行のための被害認定調査」が追加された。活動日の実績に基づき活動日半日あたり4時間、活動日1日あたり7時間のCPD実績として、事後申請の場合でも登録することができることとした。2024年12月27日より、上記の受付を開始。2025年3月に「能登半島地震専門家派遣としての災害対策支援活動」として、34名にCPD単位の付与を行った。

以上

## ■支部建築家資格制度実務委員会

…委員長：大田司（支部委員長）、副委員長：中藪則喜、委員：山之内裕一、澤康昌、中館誠治

### ■登録建築家更新・再登録審査

2025年2月18日、申請内容の調査を支部資格制度実務委員会で行い、2025年3月17日に登録建築家の更新・再登録の認定評議会をWEBにて行いました。

今回の更新者は北海道支部全体で47名です。細則9条1、9条2、9条3で更新が承認されました。再登録については1名です。細則10条1項による再登録で承認されました。

### ■登録建築家の新規認定審査

今年度は新規の申請者についてはありませんでした。

### ■新資格制度を推進する特別委員会、その後の動きについて意見交換

今まで進めていた士会制度との統合から、世界的な通用性として、UIA協定を基本とする新制度へと変化してきている。その中で、APECアーキテクトの登録要件との整合が進められており、その今後について等、色々な視点から意見交換を行った。

・今後の登録建築家のプロモーションとしてはとても有効になるのではないかと。現状、更新や再登録を躊躇している人にとっては良い後押しとなる。

・APECアーキテクトは専兼の区別がないがどうか？→士会との協議での①がそうであったように、（専兼の区別なく、設計者の資格）②で登録建築家が担保されればよいのではないかと。

・JIAの特徴、言い換えると建築家だからできるという内容を進めると良いのではないかと。

弁護士会の紛争処理の委員を経験してきて、協議5回で終着させる件を、訴えている人の声に耳を傾けながら根気よく解決方法を探り、計10回の協議となったが、よりよい方向に導いた件もあった。町医者のように、話を聞いていくことは建築家としてできることかもしれない。

・SNSの発達によって、仕事を簡単に失うような状況を多く目にするようになった。建築で言えば、メンテナンスの難しい素材利用で、その劣化による改修のコスト。その素材利用の説明や、改修の計画等の話が事前にできたか等、建築家としてそのような事象への対応の手法や、一昔前までは多少の不具合が住み手の工夫により大きな問題なく、逆にそれを超えて愛している建築だからというような文化性もあった。その両面が醸成されるようなことができないだろうか。

### ■支部委員会の活動方針について

・資格制度に関する特別委員会の進捗と合わせて、新資格制度の移行を検討する。

・上記を進める間にも、登録建築家のプロモーションは継続する。

・今後、他会の資格やAPEC等の資格につながる緩和を進めていくため、大きなメリットがうまれると考えられる。プロモーションに活かしていく。

以上、2024年度の支部建築家資格制度実務委員会の活動報告です。

## ■2024年度 旭川地区会 活動報告 …グループリーダー 石田 純枝

### ■旭川地区会会議（展覧会打合せ、作業参集含む）

【開催】 4/12、4/26、5/14、5/20、5/23、7/5、8/23、10/15、12/27、2/26、3/21 全11回

### ■川からのまちづくり展「北彩都あさひかわ」の30年 開催

会期：5/28（火）～6/30（日）

会場：中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館ステーションギャラリー

入場者数：約1000人

ギャラリートーク開催：6/15、6/29 各 AM. PM 会期中4回開催

解説スピーカーは旭川メンバー

ゲスト 篠原修氏、高見公雄氏、内藤廣氏、村田周一氏

「Asahiakwa School 60.61」と併催

### ■JIA 25年賞と外断熱～北方建築総合研究所との共催勉強会

日時：6月27日（木）15:00～17:00

会場：あさひかわ北彩都ガーデンセンター

講演：圓山彬雄

クロストーク：圓山彬雄、渡辺拓哉、佐々木雄二

### ■Asahikawa School

□ vol. 59 / 2024年4/26（金）18:00

「81日間世界一周 建築紀行」スピーカー：平尾稔幸氏

【参加人数】旭川地区会メンバー 12名

□ vol. 60 / 2024年6/15（土）13:30

「川からのまちづくり展」トークイベント スピーカー：篠原修氏、高見公雄氏

【参加人数】20名

□ vol. 61 / 2024年6/29（土）11:00

「川からのまちづくり展」トークイベント スピーカー：内藤廣氏、村田周一氏

【参加人数】40名

### ■協力会商品説明会への協力

2023年7月18日（木）13:30～16:30

大雪クリスタルホールにて開催

士会、事務所協会、施工業者等への告知、協力

懇親会、旭川地区より7名参加

## ■本部災害対策会議 …災害対策グループ グループリーダー 菅原 秀見

毎月1回開催される本部災害対策会議（Web会議）に出席。今年度は能登の災害を中心に、各地区での災害対策状況の共有を行った。また、全国大会に伴うJIAマンス企画JIA4会議合同シンポジウム「JIA4つの心得から考える「いつも」と「もしも」能登半島地震からみえてきたこと」に参加した。

## ■25年賞登録・アーカイブグループ（山之内GL）

北海道の建築文化の底辺を広げるためさらなる建築賞および建築選登録数の増加を目指します。

2024年度「JIA25年賞・建築選」は、25年建築賞「パストラルタウン美しが丘（設計：倉本龍彦・小室雅伸・圓山彬雄・宮下勇）」、25年建築選「藻岩下の家（設計：山之内裕一）」の2件が、北海道支部グループメンバー3名による審査登録後、本部審査を経て決定。全国では、25年建築賞は北海道支部受賞作を含め7件、建築選は同25件。

## ■本部国際委員会 …国内外交流グループ 本部国際委員 鳥海 良晴

- ・本部国際委員会（毎月1回、Web会議）に出席し、UIAを含む各国の建築家団体との交流活動内容の共有、Webinarの企画などについて協議した。
- ・JIA別府大会に本部国際委員として出席し、ARCASIA（アジア）、AIA（米国）、ASA（タイ）、KIA（韓国）、KIRA（韓国）、SIA（シンガポール）などJIAの海外提携協会の招待ゲストを接遇した。

## ■総務グループ …グループリーダー 中舘 誠治

### 1) 2024年度 通常総会

下記の通り通常総会を開催、各議案全てに承認を得ました。

日時：2024年5月15日（水）15:00-15:40 会場：設計会館8階会議室A

総会終了後日本建築家協会 会長 佐藤尚巳 氏による講演を開催

### 2) 2025年度 意見交換会

総会后、会場である京王プラザホテルへ移動、意見交換会を開催

### 3) 事務局業務および、支部会計の管理

各四半期決算の会計審査および、幹事会への報告を行なった。

事務局員不在期間（4～6月）中の事務局業務、および新事務局員の雇用対応などを行なった。